

いつも大変お世話になっております。本検定の趣旨、および実績を以下に記します。

\*\*\*\*\*「戦史検定」の趣旨について\*\*\*\*\*

日本の平和と繁栄は、多くの戦没者の犠牲の上にあります。

しかし戦後70年が経ち、その戦没者の慰霊碑は祭祀の主を失い、朽ち廃れています。

戦後、遺族や戦友が、彼ら玉砕の地（特に海外）に建てた「戦没者慰霊碑」を訪れる日本人は、減少の一途です。管理人不在のため、戦没者を貶める心無い落書き（中・韓語で赤いスプレー）をされ、ハンマーで叩かれ、ボロボロのまま放置されている惨状です。スプレー書きや、碑の損傷は、毎年エスカレートしております。

また、現地住民に碑の「銘板」を剥がされ、金属が売られ、石だけが残る、という碑もあります。

その慰霊碑の保全費用を集めるため「戦史検定」がはじまりました。

一方、問題は日本人自身が、慰霊碑の惨状を見ても全く無関心な人が多いということです。無知からくる行動なのでしょうが、その姿を英霊はどう見ているのだろうかと思います。

グアムでは、現地の日本人ガイドが「平和教育」の名の下、戦跡各所を一方的な自虐史観の解説で、全国の修学旅行生を案内しております。「日本軍=悪」のオンパレードの解説に、私はそのガイドに「違う観点から考えてみることを勧めました。

記憶の風化が進む中、戦史検定により、我が国の戦史を「学ぶきっかけ」となるよう、次世代へ史実を継承する取り組みであり、収益は下記の通り慰霊碑保全に寄付されます。

\*\*\*\*\* 収益の使い道 \*\*\*\*\*

初年度……ガダルカナル島アウステン山慰霊碑 保全費用…10万円

2年目……福島県遺族会へ東日本大震災で倒壊した、慰霊碑保全費用・20万円

プラス、篤志家より60万お預かりした計80万円を寄付

3年目……パラオ本島慰霊碑整備費用、密林化した敷地の伐採、清掃（人材派遣）…25万相当

4年目……グアム慰霊碑修復（ペンキ塗り）

南太平洋慰霊協会へ寄贈10万円、+3名派遣経費30万円（派遣費用はJYMAで補填）

5年目……フィリピンセブ慰霊碑修復 20万相当（詳細はHPに記載）です。

第6回を迎える「戦史検定」は、まだまだ小さな取り組みですが、少数のボランティアスタッフががんばっております。

何卒、情報拡散、協賛金など、お力添えをいただけますよう、よろしく願いいたします。

時節柄、くれぐれもご自愛ください。

戦史検定協会

広報 鈴木 千春